

第2次石巻市総合計画における令和5年度実績の内部評価について

令和3年9月に策定した第2次石巻市総合計画基本計画では、6つの基本目標を達成するための基本施策を定め、その達成状況を毎年度評価・検証することにより、施策の進捗管理を行います。

評価・検証においては、担当課において前年度の達成状況を評価した上で、学識経験者や関係団体の職員で構成する「石巻市総合計画推進会議」による外部評価を実施し、評価・検証結果を各事業へ反映させることで改善につなげるものです。

1 第2次石巻市総合計画における評価体系について

	基本計画	実施計画
評価	施策評価	事務事業評価
指標	数値目標 (KGI)	重要業績評価指標 (KPI)
担当	復興企画部政策企画課	総務部行政経営課
目的	○第2次石巻市総合計画の進捗管理	○行政資源の効率的・効果的な 適正配分の促進 ○職員の事務事業の改善に 向けた意識改革の醸成
内部 評価 項目	○定量評価 市民満足度調査 ※令和5年度実施	○定量評価 →KPI達成率から節ごとに 4段階で評価 ○定性評価 →施策の効果や取組状況から 節ごとに3段階で評価

外部評価（総合計画推進会議）

【評価の視点】内部評価の妥当性

- 市民目線・専門的視点で内部評価が適切か
- 市の施策と市民目線がかけ離れていないか

2 内部評価方法について

定量評価	<p>① 達成度：指標の目標値に対する達成率から a～d の4段階に分類 a：100%以上、b：80～99%、c：60～79%、d：～59%</p> <p>② 各指標の「①達成度」から4段階で評価</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">基本計画</td> </tr> <tr> <td> 各KPIの「①達成度」から4段階で評価 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">第2期 復興・創生期間に係る対応方針 / 地方創生の取組</td> </tr> <tr> <td> 各KGIの「①達成度」から4段階で評価（括弧内はKGIが2つの場合） ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd） </td> </tr> </table>	基本計画	各KPIの「①達成度」から4段階で評価 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上	第2期 復興・創生期間に係る対応方針 / 地方創生の取組	各KGIの「①達成度」から4段階で評価（括弧内はKGIが2つの場合） ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）																					
	基本計画																									
各KPIの「①達成度」から4段階で評価 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上																										
第2期 復興・創生期間に係る対応方針 / 地方創生の取組																										
各KGIの「①達成度」から4段階で評価（括弧内はKGIが2つの場合） ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）																										
定性評価	<p>③ 施策の効果や取組状況から担当課において3段階で評価</p> <p>◎：課題を改善し効果を上げることができた</p> <p>○：課題の改善に取り組んでいる</p> <p>×：課題が改善されず効果が上がっていない</p>																									
<p>④ 定性評価と定量評価を掛け合わせた</p> <p>右の基準から「内部評価」を設定</p> <p>A：順調</p> <p>B：概ね順調</p> <p>C：やや遅れている</p> <p>D：遅れている</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="background-color: #cccccc;">定性評価</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">◎</td> <td style="background-color: #cccccc;">○</td> <td style="background-color: #cccccc;">×</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">定量評価</td> <td style="background-color: #cccccc;">◎</td> <td>A</td> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">○</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">△</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">×</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>D</td> </tr> </table>				定性評価			◎	○	×	定量評価	◎	A	A	B	○	A	B	C	△	B	C	D	×	C	D	D
				定性評価																						
		◎	○	×																						
定量評価	◎	A	A	B																						
	○	A	B	C																						
	△	B	C	D																						
	×	C	D	D																						